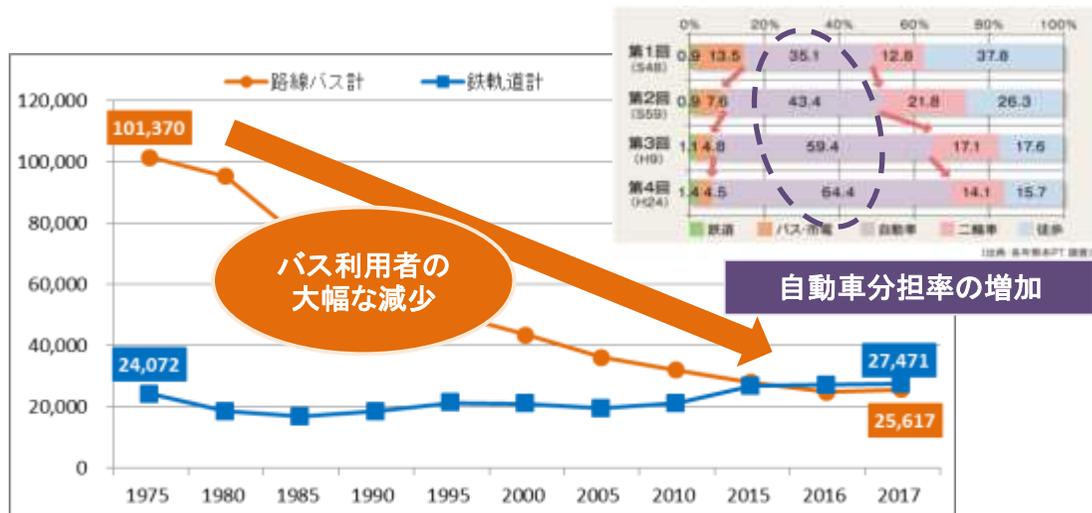
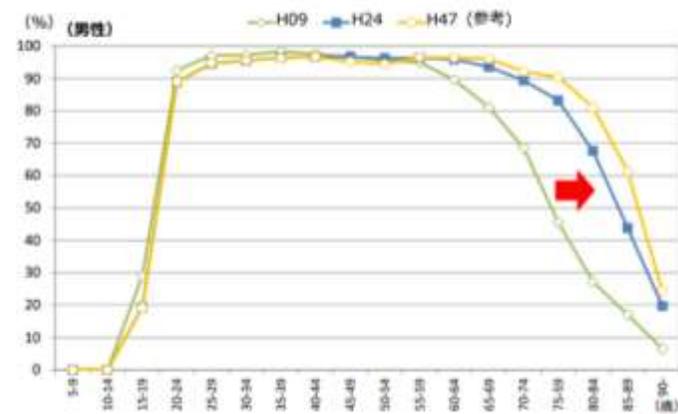


① 公共交通利用者数の推移及び交通手段分担率の変化



③ 免許保有率

■ 免許保有率の推移(男性)

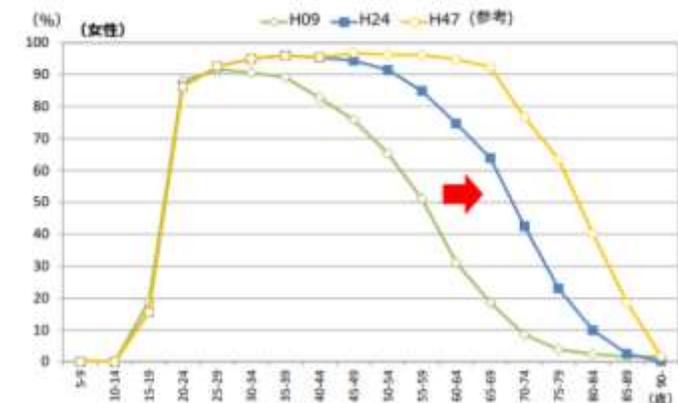


高齢者の免許保有率の増加

② 人口動向



■ 免許保有率の推移(女性)



→今後、公共交通利用者の更なる減少が予測される。

利用促進について これまでの取組

● 小学生向け出前講座

公共交通について学び、興味を持ってもらうことを目的として、運輸支局、バス事業者、県バス協会と共同で、小学生を対象に、交通に関する基礎知識、バスの乗降方法などの学習、路線バスを使った体験乗車を実施。



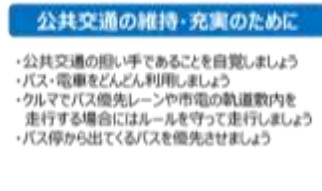
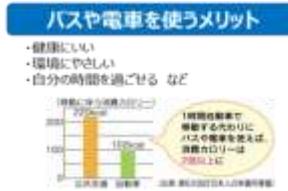
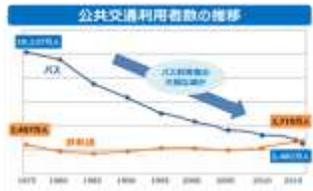
● 公共交通利用促進キャンペーン

公共交通に関するパンフレット等を作成し、公共交通キャンペーンやイベントに併せたオープンハウス等で周知を実施。花畑広場での公共交通に関するイベントや、SNSを活用したフォトコンテスト等を実施。



● 広報活動の実施

熊本市全域のバス路線図の作成や、おはよう熊本市（シティFM）、くまもと市政だよりテレビ版等を使った広報活動を実施。



バス・電車を使うと「お得！」がたくさん

公共交通を利用すると、交通渋滞の緩和や地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減などいろいろな効果があります。4月は進学や就職などの変化が訪れる時期です。この機会に通勤・通学方法を再見直しませんか。

▶健康にいい！
自転車ばかり利用していると、歩く機会が減り健康によくありません。バス停や駅まで歩くと健康やダイエットにも効果的です。

▶環境にやさしい！
CO₂(二酸化炭素)を減らす方法として、自転車に乗る機会を減らすことが最も効果的と言われています。

▶自分の時間を過ごす！
自分で運転しなくていいので、本を読んだり、勉強したり、音楽を聴いたり一時間を有効に使えます。

▶定期券でお得に！
通勤や通学など毎日利用する方は、定期券をつくるとお得な料金で利用できます。交通事業者によっては、休日などに同乗の家族も割引を受けられるサービスもあります。詳しくは、各バス会社や交通局ホームページ(www.kotsu-kumamoto.jp)へ。

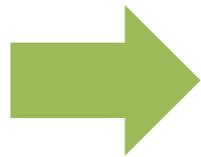
比較: 200kcal (公共交通) vs 100kcal (自転車) vs 200kcal以上 (自動車)

▶環境にやさしい！
CO₂(二酸化炭素)を減らす方法として、自転車に乗る機会を減らすことが最も効果的と言われています。

▶自分の時間を過ごす！
自分で運転しなくていいので、本を読んだり、勉強したり、音楽を聴いたり一時間を有効に使えます。

▶定期券でお得に！
通勤や通学など毎日利用する方は、定期券をつくるとお得な料金で利用できます。交通事業者によっては、休日などに同乗の家族も割引を受けられるサービスもあります。詳しくは、各バス会社や交通局ホームページ(www.kotsu-kumamoto.jp)へ。

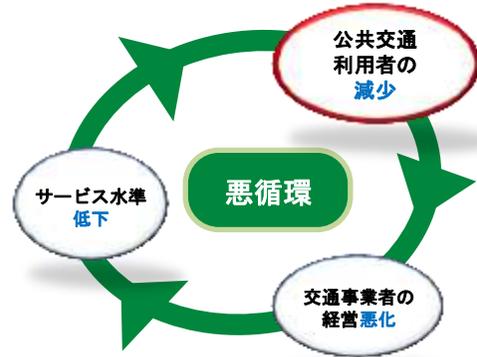
(交通政策課 ☎328-2510)



これまでの取組に加えて
新たな取組の必要性



本部会にて検討



「悪循環」から「好循環」への転換を図る

利用促進について 新たな取組①

● バス待合環境改善事業

バス停付近にある商業施設や公共施設に協力を求め、快適にバスを待つことができる場所を提供していく。

バス停用ステッカーイメージ↓

協働内容

- イートインスペース、ベンチの活用
- 時刻表の掲示、設置
- トイレの利用 など

バス待ち処

- ◆ 椅子あり
- ◆ 時刻表あり
- ◆ トイレあり



店舗用ステッカーイメージ↑

このバス停のバス待ち処は
セブンイレブン萩原店

バス待ち処

- ◆ 椅子あり
- ◆ 時刻表あり
- ◆ トイレあり



↑このステッカーが目印

※地図は差し替え

バス待ち処

バス停

バスの待合環境が改善

市民にとっては
バスの利便性が向上

バス事業者にとっては
バスの利用者が増加

商業施設にとっては
来店者が増加



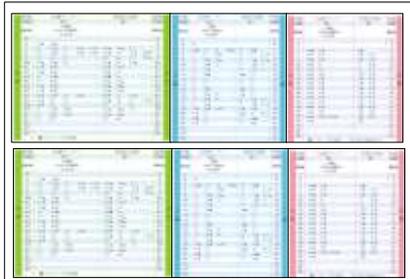
バス接近情報
※来年度導入予定



利用促進について 新たな取組②-1

● 路線別利用促進事業

バス事業者別に選定した特定路線の沿線地域において、停留所別のバスの時刻表やバスの乗り方などについて、きめ細やかな情報提供をし、利用促進をはかる。



時刻表や利用促進チラシを配布



対象路線案

情報提供による
効果測定を実施

利用促進について 新たな取組②-2

	対象路線	停留所	配布物の形式	配布方法	効果測定
九州産交バス	川尻BP経由 センター松橋線	①熊本農業高校前 ②元三町 ③大慈禅寺	・折り畳み式の時刻表、路線図、 周辺情報など (バスの乗り案内等も掲載)	・ポスティング ・自治会、老人会にて配布	・乗客数の変化 ・対面式アンケート
産交バス	戸坂・谷尾崎経由 小島産交線	①戸坂 ②谷尾崎入口 ③谷尾崎団地前	・折り畳み式の通過時刻表 (バスの乗り案内等も掲載)	・ポスティング	・乗客数の変化
熊本電鉄バス	清水ヶ丘線	①清水ヶ丘 ②北津留 ③立田山	・通過時刻表 ・チラシ	・ポスティング	・乗客数の変化 ・料金後納郵便での アンケート
熊本バス	田迎線	①良町 ②出仲間 ③萩原	・時刻表、路線図 (バスの乗り案内等も掲載)	・ポスティング	・乗客数の変化 ・料金後納郵便での アンケート
熊本都市バス	渡鹿長嶺線	①長嶺小学校前 ②保田窪三丁目 ③保田窪四ツ角	・折り畳み式の時刻表、路線図 (バスの乗り案内等も掲載)	・ポスティング	・乗客数の変化

▲各社の取り組み方法(案)

- 選定した路線・バス停周辺の特性を考慮し、配布物の形式や配布方法、効果測定の方法をバス事業者が選定。
- アンケートや乗客数の変化等から、利用促進による効果を測定する。
- 取組ごとの効果を比較し、今後の取組について検討する。

利用促進について 他都市の取組事例①

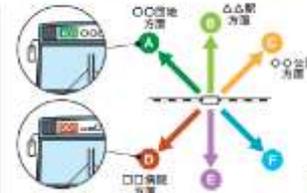
情報提供

● 情報をわかりやすく伝える

公共交通の利用に関する情報を、日頃使い慣れていない方にとっても分かりやすい形で提供し、公共交通のサービス内容や乗り方などを理解してもらう。

取組	具体例
バスの行き先を分かりやすくする (大分市、京丹後市 等)	県・市・バス協会及び交通事業者が連携し、バス車両前面の行き先表示を再編。方面別に区分された記号と番号の組み合わせでの表示を実施し、バスの行き先を分かりやすくする。
バスマップの作成 (和歌山市、大分市 等)	市内のバス路線を1枚にまとめた「どこでもバスマップ」を作成。1日の本数や運賃等も示し、利用の抵抗感を軽減。

方面別に記号やカラーで分類、バスの行先表示にも記載して統一的に情報提供



● 情報を幅広く伝える

公共交通に関する情報を様々な手法で市民に伝え、公共交通のサービスを知ってもらう。

取組	具体例
Webの活用 (金沢市、新潟市 等)	スマートフォン等でバスの時刻表や接近情報を伝えることで、いつバスが来るか分からないという、不安を軽減する。また、民間の乗換案内検索サービスへデータを提供し、公共交通情報が一元的に提供される環境づくりを行う。
市広報誌の活用 (広島県大竹市 等)	市広報誌を活用して、コストをかけずに定期的なコミュニケーションを実現、多くの市民のバス認知度を向上。
タウン誌の活用 (京都市 等)	地域に多くの読者を有するタウン誌を活用して情報提供を行い、効果的に大規模なコミュニケーションを実施。

市の広報誌を活用



タウン誌と連携



Webの活用

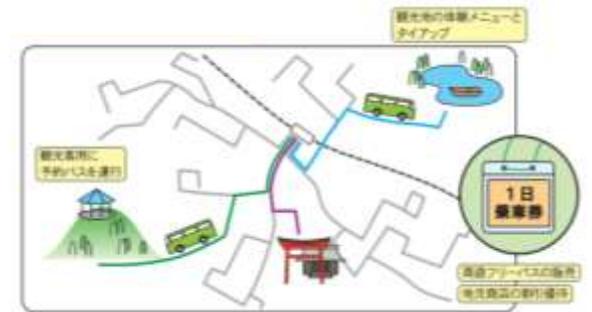


新規開拓

● 観光客の利用を促進

観光客が利用しやすい運行サービス内容とすることによって、地域公共交通の利用者を拡大。

取組	具体例
観光客の利用を促進 (北海道弟子屈町 等)	<ul style="list-style-type: none"> 複数の公共交通手段を1枚のパスで利用可能な、観光客向けの町内周遊フリーパスを販売、運賃支払い方法に不案内な観光客の公共交通利用への抵抗感を軽減。 観光地で体験できる様々なメニューと公共交通のチケットをセットにした、観光客向けのパスを販売。



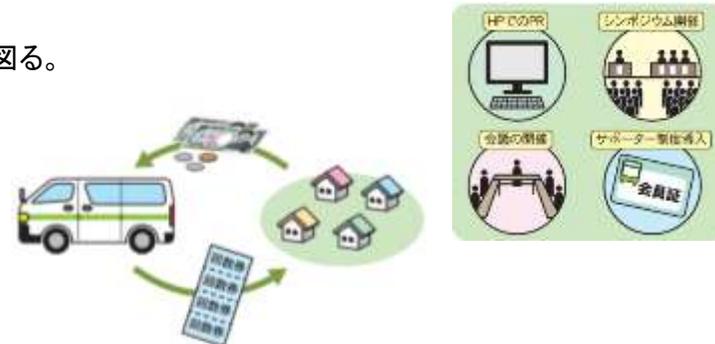
利用促進について 他都市の取組事例②

意識醸成

● マイレール・マイバスの意識醸成

マイレール・マイバス意識の醸成によって、地域公共交通の利用者拡大と利用回数の増大を図る。

取組	具体例
直接対話による意識向上 (青森県 等)	シンポジウムを開催し、沿線の市民が参画する地域公共交通に関する会議を実施。公共交通を地域で支えることを改めて考え、マイレール・マイバス意識の向上と利用促進を図る。
自治会費を運営費に充当 (福井市、和歌山市 等)	自治会費によって運営費を賄うことで、地域全体で支え、マイバス意識の向上と利用促進を図る。



● 企業や商業施設との連携

地域の団体や商業施設が買い物客に対して公共交通サービスを提供したり、運賃を一部負担することにより、公共交通の利用促進が期待できる。

取組	具体例
商業事業者が 無料乗車券を配布 (青森県八戸市 等)	商店街で買い物をした人に対して商業事業者がサービスとして無料乗車券を配布することで、利用促進を図る。
商業事業者が バス運行を補助 (茨城県土浦市 等)	中心市街地の活性化を図る目的で、ショッピングに便利な時間帯にバスを運行し、利用促進を図る。国や市からの補助だけでなく、商店街振興組合が補助を行うことも考えられる。



サービス向上

● 駅、バス停の環境を改善する

駅、バス停の環境を改善等を地域ぐるみで行うことで、地域公共交通の利用促進への関心を高める。

取組	具体例
既存施設を 待合施設として活用 (宮崎県諸塚村、豊田市 等)	中心部のバス停において、商工会館や観光物産館の建物内をバスの待合スペースとして活用。商工・観光関係者と連携してバス停の環境改善を実施。
地域住民によるバス停の 環境改善 (石川県珠洲市、松江市 等)	地域住民が「バス・ボランティア・サポートプログラム」制度を設立。ボランティアがバス停留所の除雪や清掃を定期的実施する等、地域団体や学校等によるバス支援活動を実施し、バス停の環境改善を行う。

